

教員名：荒木隆人

指導教科：政治学

① 研究・関心領域内容

私の主たる問題関心は、近代主権国民国家論の再検討であり、多文化共生や多民族共生を可能とする国家論の理論的・実証的な検討にあります。その関連で、多文化主義や間文化主義といった社会統合理念についても検討しています。以上の実証研究のフィールドとして、現代北米政治（カナダ政治、アメリカ合衆国政治）やヨーロッパ政治にも関心があります。

② 自己紹介<こんな学生を募集しています>

政治学は、人間を対象とした営み、善や正義を求める人間の本性に根ざした営みについての学です。人間の学としての政治学の面白さを様々な角度から皆さんにお伝えできればと思っています。多様な分野の文献を読むことを厭わず、知的好奇心に溢れ、人間として「善く生きる」とは何かを共に考えてみることを欲する方を求めます。

③ 現在の人数： 三年生 7 人 四年生 4 人

④ ゼミのテーマ、方針、学習・研究内容

教員の問題関心は、多文化共生や多民族共生の政治学ですが、それに限らず、受講生の問題関心に応じて広く政治学に関わるテーマを選択します。

前期は、基本的な文献を輪読し、後期は受講生各自の問題関心に沿ったテーマを選び、レポート等を完成させます。

⑤ 授業形態（発表、討論、講義など）

基本的には課題について受講生が報告し、それを全員で討論するという方法です。後期は受講生各自の発表のための準備が中心になりますが、方法的には同じです。

⑩ 最後にゼミのPRをお願いいたします！

基本的には、政治学とは何かを探求することは、その対象である人間とは何かを探求することであると考えています。そのためには、古典を紐解き、歴史から学ぶという過去との対話と現在に生きる人間との対話の両方が必要であると考えています。皆さんが自らの考え方をしっかりと確立し、それを物おしせず他者に伝えるということが対話の基本になります。皆さんが対話しやすいように雰囲気の良いゼミにしたいと思っています。

⑥ 現在のゼミの様子、雰囲気

ゼミでは、受講生の方が課題文献の内容をしっかりと報告し、その報告内容に対して、積極的に全員がグループ討論において発言している感じです。

⑦ ゼミ生に希望すること

ゼミに積極的に参加し、発言することはもちろんですが、政治学を学ぶために、多様な分野の文献（古典を含む）を読むことを厭わない方を希望します。

⑧ 成績評価の方法

日頃のゼミへの積極的な参加、発言、レポートなどにより評価します。

⑨ ゼミ生選考方法

希望者が多数の場合は、面接によって選考します。